

半世紀を経てユビキタスCG時代に
〜広島から世界を目指して〜

9/6
10:40

入場
無料



西田友是

東京大学名誉教授 / プロメテック CG リサーチ研究所長 /
デジタルハリウッド大学卓越教授 / 福山大学客員教授

CGの研究が開始されて半世紀以上が経過し、情報基盤の一つとしていつでもどこでもCGが浸透(いわゆるユビキタスCG時代)し、近年ではVR、メタバースさらにAIが注目されるようになりました。FITが広島開催ということですが、1970年代においては広島が日本のCGの研究拠点(発祥地)だったことを紹介します。具体的には広島大学の中前先生が日本のCGの父といわれ、退官後は広島工業大学に勤務されました。私はその中前先生の弟子としてCG研究を発展させ、業績を評価されて昨年CGパイオニアとして瑞宝中綬章(2015には紫綬褒章)を受賞しました。受賞を記念して本講演を依頼されたという経緯があります。ということで、CGの歴史的な種々の技法(Zバッファ法、レイトレーシング、ラジオシティ、バンプマッピング、イメージベースレンダリング、自由形状変形など)を開発したCG界のパイオニアたちについて紹介します。加えて、CGが貢献してるメタバース、AIなどにも触れたいと思います。

